

週間漁海況情報 2025年第46号

令和7年11月18日発行

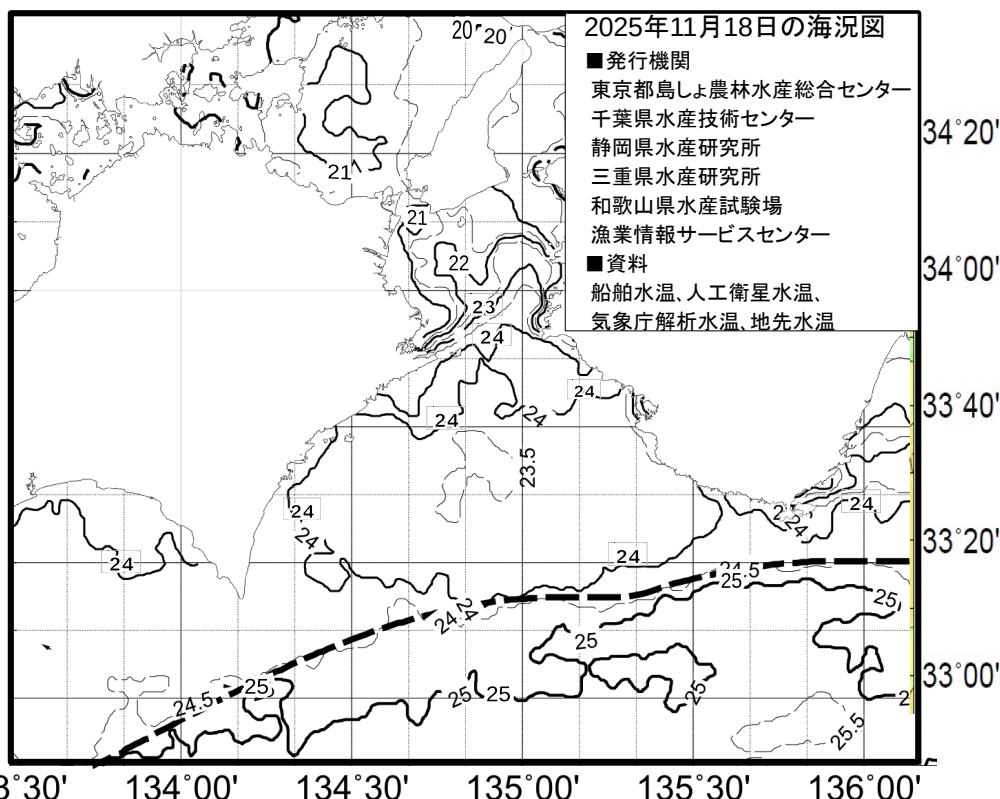
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖25マイル付近、潮岬沖20マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は24～25℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で20～21、紀伊水道で20～23、海部沿岸で23～24℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

(いずれも正南方向)

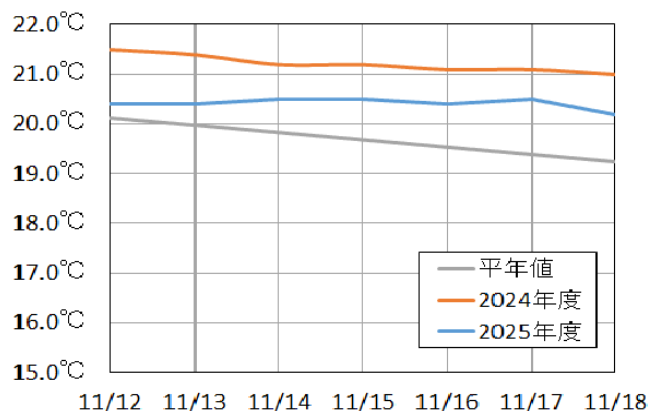
直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

2. 地先水温(11月12日～11月18日 浅川地区は水温計故障のため那佐地区の水温を用いた。)

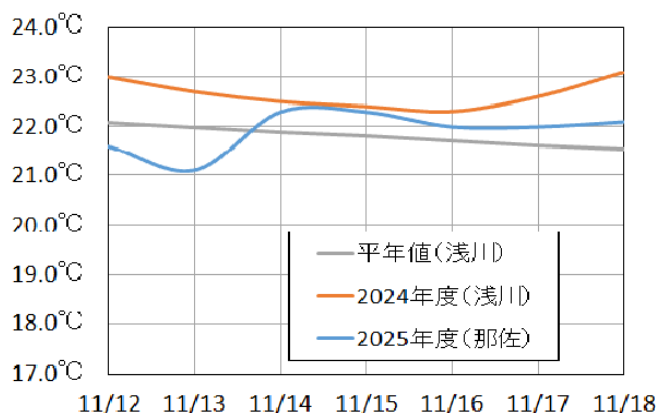
鳴門地区の水温は、20.5～20.2℃で「平年並み」から「やや高め」で推移。那佐地区は、21.1～22.3℃。

鳴門と那佐地区の水温差は、0.7～1.9℃だった。

鳴門地区



那佐地区(昨年値と平年値は浅川地区)



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(11月19日～11月25日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「やや高め」で推移する見込み。

漁況 (11月10日～11月16日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが減って44.3ト水揚げされた。

延縄では、サワラが2ト、あまだい類が増えて1.5ト水揚げされた。

底びき網では、えそ類が減って2.8ト、ハモが中主体に1.3ト、

クマエビが減って0.8ト、かます類が減って0.7ト水揚げされた。

建網では、カワハギが大きく増えて大主体に0.8ト、メジナが大きく増えて0.4ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが豆あじ級主体に1.1ト、アイゴが増えて0.8ト、

イサキが大主体に0.6ト、カンパチが大きく減って大主体に0.3ト、

マルアジが小主体に0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

大型定置網では、メアジが1ト、マルソウダが0.9ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	70	シラス	44,280	633		↘
	延縄	50	サワラ	1,982	40		→
		72	あまだい類	1,545	21		↗
	底びき網	30	えそ類	2,827	94		↘
		31	ハモ	1,253	40	中主体	→
		31	クマエビ	805	26		↘
		30	かます類	724	24		↘
	建網	129	カワハギ	805	6	大主体	↗↗
		77	メジナ	364	5		↗↗
	小型定置網	18	マアジ	1,148	64	豆あじ級主体	→
		17	アイゴ	815	48		↗
		14	イサキ	572	41	大主体	→
		14	カンパチ	340	24	大主体	↘↘
		11	マルアジ	300	27	小主体	→
海部沿岸	大型定置網	6	メアジ	958	160		↗↗
		6	マルソウダ	911	152		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘